

井上病院伝言板 第249号 平成30年7月

7月の旧暦名：文月（ふみづき、ふづき）

7月7日の七夕に詩歌を献じたり、書物を夜風に曝す風習があるから等の説があります

<井上病院 理念>

医療を通じ地域の方へ安心を提供すること
絶え間ない質の改善を行うこと
自分や自分の家族がうけたい医療を行うこと
働きがいのある明るい職場を作ること



ひとこと ～脳卒中について～

①「脳卒中 決め手は予防と“もしや”受診」

これは平成23年度脳卒中協会の標語です。

脳卒中は脳腫瘍などに比べ予防が可能な病気です。また“前触れ”の段階で急いで治療すれば、悪化を防ぐことも可能です。

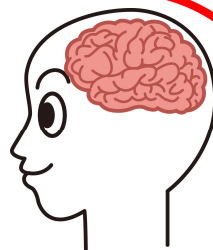
さらに一度脳卒中を発症した人の再発率は高く、10年間でみると45～75%で再発するとも報告されています。しかし、適切な対策で再発を抑えることは十分に可能です。その際に抗血栓薬は、再発予防効果を最大にし、かつ出血リスクを最小とする処方にならなくてはなりません。

②「脳梗塞後の患者さん、データ更新しましょう」

5年も10年も前に脳梗塞を起こしたのち、一度も検査が行われず、当初の処方がそのまま継続されている方が少なくありません。その間に、脳の状態は変化し、検査法や薬剤の使用法も大きく進歩しています。脳外科での定期的検査によって更新した最新情報を、かかりつけ医の先生方にお知らせする、そのようなネットワーク作りを考えています。平成29年6月からは外来診療枠を月曜日から金曜日まで連日に広げました。ぜひ、ご紹介ください。

各種脳卒中の話を「脳外科通信」としてまとめ、患者さんにお渡ししています。現在第9話までですが、今後さらに新たな内容を加えてゆく予定です。ご一読いただければと存じます。

脳神経外科 上之郷眞木雄



7月20日は土用の丑の日

◇土用の丑の日とは？

四立（立夏・立秋・立冬・立春）の直前約18日間ずつが土用です。

●春の土用 4月17日(火)～5月4日(金)

●夏の土用 7月20日(土)～8月6日(月)

●秋の土用 10月20日(土)～11月6日(火)

●冬の土用 1月17日(水)～2月3日(土)

この期間中に巡ってくる「丑の日」を「土用の丑の日」といいます。



◇なぜ土用の丑の日にウナギを食べるのか？

江戸時代に、ウナギが売れなくて困っていたウナギ屋が平賀源内に相談したところ「丑の日にちなんで「う」から始まる食べ物を食べると夏負けしない」という風習があったことから、「本日、丑の日という張り紙を店に貼りなさい」とアドバイスをし、その張り紙の効果でウナギ屋は大繁盛になったそうです。

また、「本日、丑の日」は、日本初のコピーライティングともいわれています。（諸説あり）

ちなみにウナギの旬は、冬なのだそうです。

何かを売るための工夫や知恵は、見習うべき姿勢だと感じます。

